

ICOM<sup>®</sup>

## 取扱説明書

特定小電力トランシーバー

# IC-4088D

この取扱説明書は、IC-4088Dだけに搭載の機能について説明していますので、お読みになったあとも大切に保管してください。

Icom Inc.



---

# もくじ

もくじ	1
1. 交信モードについて	2
各交信モードの概要	2
設定のしかた	5
◇ 単信(シングルプレックス)モードの設定	6
◇ 複信(フルデュプレックス)モードの設定	7
◇ 半複信(セミデュプレックス)単独レピータ 使用モードの設定	9
◇ 半複信(セミデュプレックス)連結レピータ 使用モードの設定	11
◇ 複信(フルデュプレックス)連結レピータ 使用モードの設定	13
◇ 単独レピータモードの設定	16
◇ 連結レピータモードの設定	18
複信モードでの交信のしかた	21
2. セットモード	24
セットモードについて	24
グループ機能を設定する	25
1対N(複数)通信機能を設定する	26
スケルチレベルを設定する	27
3. イニシャルセットモード	28
◇ 動作状態の設定	28
◇ 連結レピータ機能の設定	29
◇ ハングアップタイムの設定	29
4. 別売品とその使い方	30

## 各交信モードの概要

IC-4088Dで利用できる7つの交信モードについて説明します。

### 子機としてご使用の場合

#### ◇ 単信(シンプレックス)モード (☞ P6)

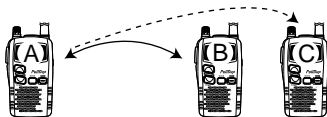
通話エリア内で、チャンネルが合致する相手と「話す」「聞く」が交互にできるモードです。(使用可能チャンネル：Ch1～Ch20)



#### ◇ 複信(フルデュプレックス)モード (☞ P7)

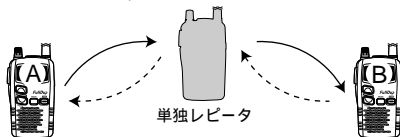
電話のように、通信相手と「話す」「聞く」が同時にできるモードです。

1対N(複数)通信時は、通話エリア内の第三者(C)も(A)で話した内容が聞こえます。(使用可能チャンネル：Ch31～Ch57)



#### ◇ 半複信(セミデュプレックス)単独レピータ使用モード (☞ P9)

通信相手とのあいだにビルなどの障害物がある場合や、ビルの異なるフロア間などで、レピータを使用して通話するモードです。単信(シンプレックス)モードのように、通信相手と「話す」「聞く」が交互にできます。(使用可能チャンネル：RPT1～RPT27)



## 1 交信モードについて

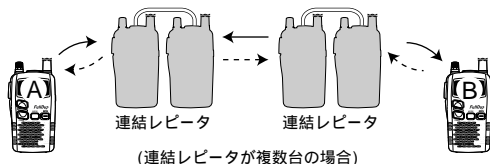
### ◇ 半複信(セミデュプレックス)連結レピータ使用モード (☎ P11)

通信相手とのあいだにビルなどの障害物がある場合や、ビルの異なるフロア間などで、レピータを使用して通話するモードです。連結レピータを複数台使用すると、単独レピータよりも広範囲をカバーできます。

単信(シンプレックス)モードのように、通信相手と「話す」「聞く」が交互にできます。

連結レピータの数は、ご使用の環境にあわせて、増設が可能です。

(使用可能チャンネル：RPT1～RPT27)



### ◇ 複信(フルデュプレックス)連結レピータ使用モード (☎ P13)

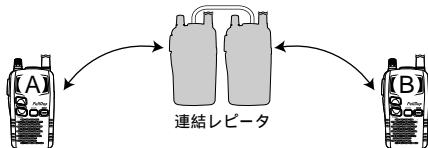
通信相手とのあいだにビルなどの障害物がある場合や、ビルの異なるフロア間などで、レピータを使用して複信(デュプレックス)で通話するモードです。

レピータを使用すると、広範囲をカバーできます。

通信相手と「話す」「聞く」が同時にできます。

連結レピータの数は、ご使用の環境にあわせて、増設が可能です。

(使用可能チャンネル：RPT31～RPT57)



レピータとしてご使用の場合

◇ 単独レピータモード(☎ P16)

本機を「半複信(セミデュプレックス)単独レピータ使用モード」のレピータとして使用するモードです。

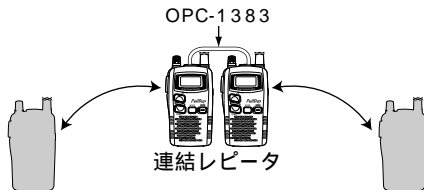
(使用可能チャンネル：RPT1～RPT27)



◇ 連結レピータモード(☎ P18)

本機を別売品の接続ケーブルOPC-1383で接続して(☎ P30)、「複信(フルデュプレックス)連結レピータ使用モード」または「半複信(セミデュプレックス)連結レピータ使用モード」のレピータとして使用するモードです。

(使用可能チャンネル：RPT1～RPT27、Ch31～Ch57)



複信(フルデュプレックス)連結レピータ使用モードの場合

# 1 交信モードについて

## 設定のしかた

イニシャルセットモードの「Sc」(動作状態の設定)項目と「Fr」(連結レピータ機能の設定)項目、通話チャンネルの設定内容は、モードにより異なります。

以下の表と6ページ以降の説明を参考に、設定してください。

### 子機として使用する場合

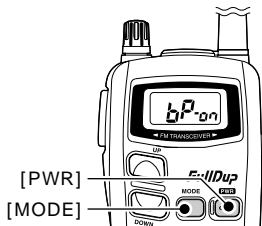
モ ー ド		イニシャル セットモード		チャンネル	
		Sc	Fr		
子機 同士での 通信	単信(シンプレックス) ( <small>☞</small> P6)	88	-	1 ~ 20	
		AL			
	複信(フルデュプレックス) ( <small>☞</small> P7)	AL	oF	31 ~ 57	
		Fd			
レピータ を使った 通信	半複信 (セミデュプレックス)	単独レピータ 使用 ( <small>☞</small> P9)	88	oF	RPT1 ~ RPT27
			AL		
	連結レピータ 使用 ( <small>☞</small> P11)	AL	A	RPT1 ~ RPT27	
			b		
	複信(フルデュプレックス) 連結レピータ使用 ( <small>☞</small> P13)	AL	A	RPT31 ~ RPT57	
			Fd		b

### レピータとして使用する場合

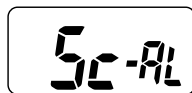
モ ー ド	イニシャル セットモード		チャンネル
	Sc	Fr	
単独レピータ ( <small>☞</small> P16)	rP	oF	RPT1 ~ RPT27
連結レピータ ( <small>☞</small> P18)	rP	A	RPT1 ~ RPT27
		b	31 ~ 57

◇ 単信(シンプレックス)モードの設定

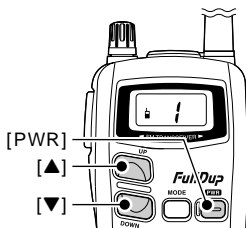
- ① 電源を切ります。
- ② [MODE]スイッチを押しながら [PWR]スイッチを押します。
  - 電源が入ります。(イニシャルセットモードを表示します。)
- ③ [MODE]スイッチを短く数回押し、Sc-88(動作状態の設定)項目を選択します。
- ④ [▲]/[▼]スイッチを押して、動作状態の設定内容を「Sc-88」または「Sc-AL」に設定します。
  - Sc-88 : 「単信モード」または「半複信単独レピータ使用モード」だけ使用可能
  - Sc-AL : 子機として動作する場合の全モード使用可能



または



- ⑤ [PWR]スイッチを短く押すと、通話チャンネル表示に戻ります。
- ⑥ [▲]/[▼]スイッチを短く押して、通信相手と同じ通話チャンネルを1～20のあいだで設定します。



交信のしかたについては、IC-4088/D取扱説明書14～19ページを参照してください。

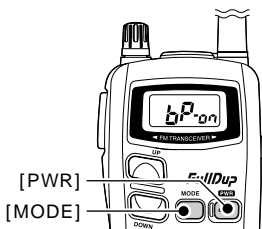
## 1 交信モードについて

### ◇ 複信(フルデュプレックス)モードの設定

電話のような通話ができるモード(フルデュプレックス)です。グループ全員を一斉に呼び出し、最初に[PTT]スイッチが押された無線機と通話します。

このモードでは、IC-4088D同士だけの通信となります。

- ① 電源を切ります。
- ② [MODE]スイッチを押しながら [PWR]スイッチを押します。
  - 電源が入ります。(イニシャルセットモードを表示します。)
- ③ [MODE]スイッチを短く数回押して、Sc-88(動作状態の設定)項目を選択します。
- ④ [▲]/[▼]スイッチを押して、動作状態の設定内容を「Sc-AL」または「Sc-Fd」に設定します。
  - Sc-AL : 子機として動作する場合の全モード使用可能
  - Sc-Fd : 複信(フルデュプレックス)モードだけ使用可能



Sc-AL

または

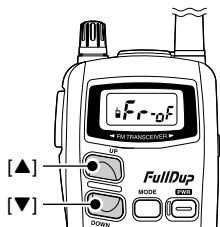
Sc-Fd

- ⑤ [MODE]スイッチを短く押して、Fr-oF(連結レピータ機能の設定)項目を選択します。



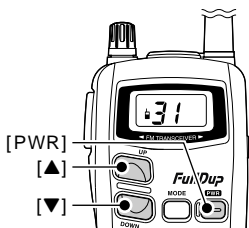
- ⑥ [▲]/[▼]スイッチを押して、連結レピータ機能の設定内容を「Fr-oF」に設定します。

● Fr-oF : 連結レピータを使用しない



- ⑦ [PWR]スイッチを短く押すと、通話チャンネル表示に戻ります。

- ⑧ [▲]/[▼]スイッチを短く押して、相手と同じ通話チャンネルを31～57のあいだで設定します。

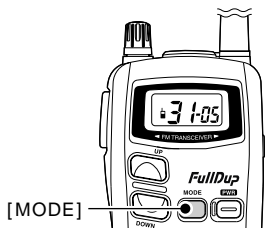


- ⑨ グループ機能を設定します。  
(☞ P25)

通信する無線機と同じグループ番号を設定します。

- ⑩ グループ機能設定後、[MODE]スイッチを短く3回押すと、通話チャンネルと設定したグループ番号の表示になります。

交信のしかたについては、本書21～23ページを参照してください。



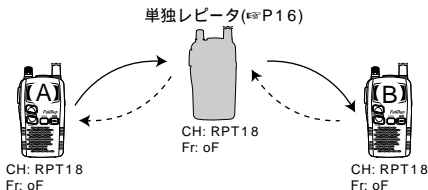
第三者が会話を聞くには

1対N(複数)通信機能(☞ P26)を設定すると、通話エリア内の第三者も、通話内容を聞くことができます。

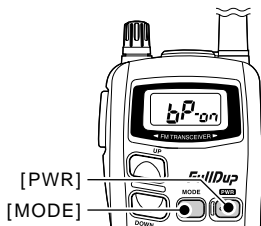
## 1 交信モードについて

◇半複信(セミデュプレックス)単独レピータ使用モードの設定  
通信相手とのあいだにビルなどの障害物がある場合などに、レピータを使用して通信相手と交互に通話するモードです。

設定例：



- ① 電源を切ります。
- ② [MODE]スイッチを押しながら [PWR]スイッチを押します。
  - 電源が入ります。(イニシャルセットモードを表示します。)
- ③ [MODE]スイッチを短く数回押して、Sc-88(動作状態の設定)項目を選択します。
- ④ [▲]/[▼]スイッチを押して、動作状態の設定内容を「Sc-88」または「Sc-AL」に設定します。
  - Sc-88 : 「単信モード」または「半複信単独レピータ使用モード」だけ使用可能
  - Sc-AL : 子機として動作する場合の全モード使用可能
- ⑤ [MODE]スイッチを短く押して、Fr-oF(連結レピータ機能の設定)項目を選択します。



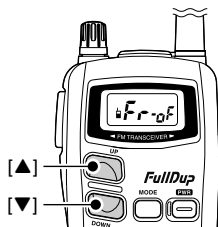
Sc-88

または

Sc-AL

- ⑥ [▲]/[▼]スイッチを押して、連結レピータ機能の設定内容を「Fr-oF」に設定します。

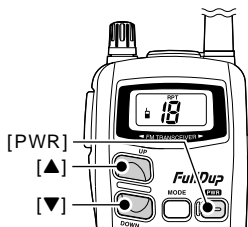
● Fr-oF : 連結レピータを使用しない



- ⑦ [PWR]スイッチを短く押すと、通話チャンネル表示に戻ります。

- ⑧ [▲]/[▼]スイッチを短く押して、隣接しているレピータと同じ通話チャンネルをRPT1～RPT27のあいだで設定します。

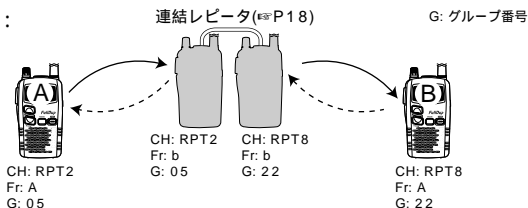
交信のしかたについては、IC-4088/D取扱説明書14～19ページを参照してください。



## 1 交信モードについて

◇半複信(セミデュプレックス)連結レピータ使用モードの設定  
通信相手とのあいだにビルなどの障害物がある場合などに、レピータを使用して、通信相手で交互に通話するモードです。

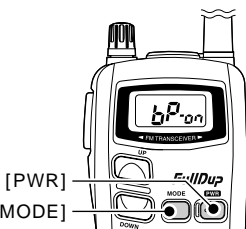
設定例：



### 【連結レピータ設置に関するご注意】

通話が途切れたり、通話音がひずんだりする原因になりますので、連結レピータを設置する際は、子機や隣接しているレピータと、ある程度距離を離して設置してください。

- ① 電源を切ります。
- ② [MODE]スイッチを押しながら [PWR]スイッチを押します。
  - 電源が入ります。(イニシャルセットモードを表示します。)
- ③ [MODE]スイッチを短く数回押して、Sc-88(動作状態の設定)項目を選択します。
- ④ [▲]/[▼]スイッチを押して、動作状態の設定内容を「Sc-AL」に設定します。
  - Sc-AL：子機として動作する場合の全モード使用可能
- ⑤ [MODE]スイッチを短く押して、Fr-oF(連結レピータ機能の設定)項目を選択します。





Sc-AL

- ⑥ [▲]/[▼]スイッチを押して、レピータ機能の設定内容を「Fr-A」または「Fr-b」に設定します。

- Fr-A : 連結レピータ周波数帯 A を使用
- Fr-b : 連結レピータ周波数帯 b を使用

隣接しているレピータと逆の周波数帯を選択してください。(レピータがAならb、bならA)

- ⑦ [PWR]スイッチを短く押すと、通話チャンネル表示に戻ります。

- ⑥で「Fr-A」選択時は、“”、「Fr-b」選択時は、“”が表示されます。

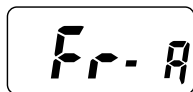
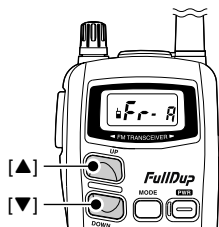
- ⑧ [▲]/[▼]スイッチを短く押して、隣接しているレピータと同じ通話チャンネルをRPT1～RPT27のあいだで設定します。

- ⑨ グループ機能を設定します。  
(P25)

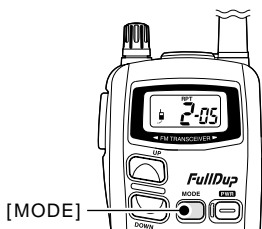
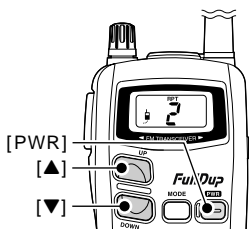
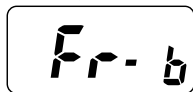
隣接しているレピータと同じグループ番号を設定します。

- ⑩ グループ機能設定後、[MODE]スイッチを短く3回押すと、通話チャンネルと設定したグループ番号の表示になります。

交信のしかたについては、IC-4088/D取扱説明書14～19ページを参照してください。

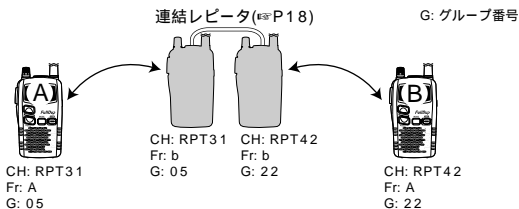


または



## 1 交信モードについて

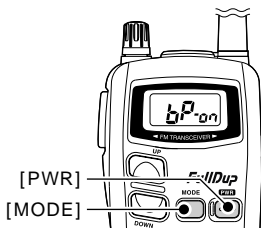
◇ 複信(フルデュプレックス)連結レピータ使用モードの設定  
通信相手とのあいだにビルなどの障害物がある場合などに、レピータを使用して、電話のように通話するモードです。  
このモードでは、IC-4088D同士だけの通信となります。  
設定例：



### 【連結レピータ設置に関するご注意】

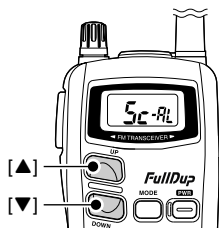
通話が途切れたり、通話音がひずんだりする原因になりますので、連結レピータを設置する際は、子機や隣接しているレピータと、ある程度距離を離して設置してください。

- ① 電源を切ります。
- ② [MODE]スイッチを押しながら [PWR]スイッチを押します。
  - 電源が入ります。(イニシャルセットモードを表示します。)
- ③ [MODE]スイッチを短く数回押して、Sc-88(動作状態の設定)項目を選択します。



- ④ [▲]/[▼]スイッチを押して、動作状態の設定内容を「Sc-AL」または「Sc-Fd」に設定します。

- Sc-AL : 子機として動作する場合の全モード使用可能
- Sc-Fd : 複信(フルデュプレックス)モードだけ使用可能



または

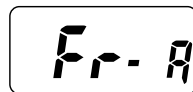
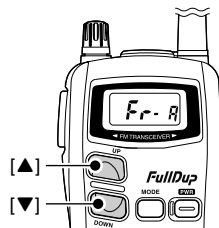


- ⑤ [MODE]スイッチを短く押して、Fr-oF(連結レピータ機能の設定)項目を選択します。

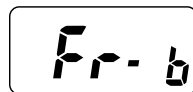
- ⑥ [▲]/[▼]スイッチを押して、ピータ機能の設定内容を「Fr-A」または「Fr-b」に設定します。

- Fr-A : 連結レピータ周波数帯 Aを使用
- Fr-b : 連結レピータ周波数帯 bを使用



隣接しているレピータと逆の周波数帯を選択してください。(レピータがAならb、bならA)

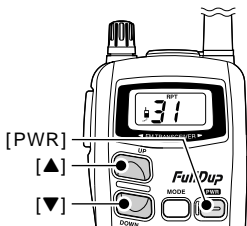


または



## 1 交信モードについて

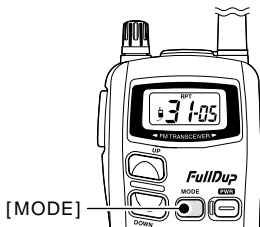
- ⑦ [PWR]スイッチを短く押すと、通話チャンネル表示に戻り、通話チャンネルの上に“RPT”が表示されます。
- ⑥で「Fr-A」選択時は、“”、「Fr-b」選択時は、“”が表示されます。
- ⑧ [▲]/[▼]スイッチを短く押して、隣接しているレピータと同じ通話チャンネルをRPT31～RPT57のあいだで設定します。



- ⑨ グループ機能を設定します。  
(☞ P25)
- 隣接しているレピータと同じグループ番号を設定します。

- ⑩ グループ機能設定後、[MODE]スイッチを短く3回押すと、通話チャンネルと設定したグループ番号の表示になります。

交信のしかたについては、本書21～23ページを参照してください。



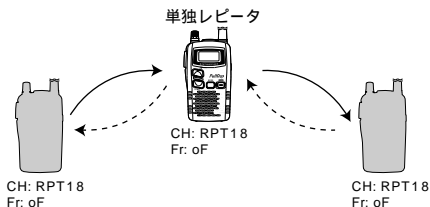
第三者が会話を聞くには1対N(複数)通信機能(☞ P26)を設定すると、通話エリア内の第三者も、通話内容を聞くことができます。



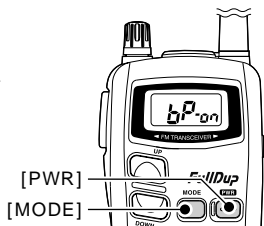
◇ 単独レピータモードの設定

本機を「半複信(セミデュプレックス)単独レピータ使用モード」のレピータとして使用するモードです。

設定例：

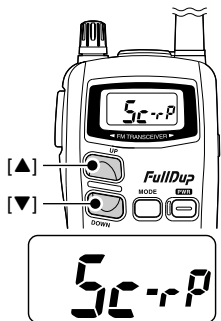


- ① 電源を切ります。
- ② [MODE]スイッチを押しながら [PWR]スイッチを押します。
  - 電源が入ります。(イニシャルセットモードを表示します。)
- ③ [MODE]スイッチを短く数回押して、Sc-88(動作状態の設定)項目を選択します。



- ④ [▲]/[▼]スイッチを押して、動作状態の設定内容を「Sc-rP」に設定します。
  - Sc-rP：レピータモードだけ  
使用可能

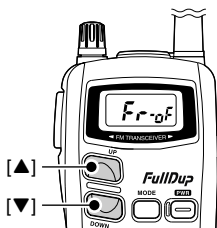
- ⑤ [MODE]スイッチを短く押して、Fr-oF(連結レピータ機能の設定)項目を選択します。




## 1 交信モードについて

- ⑥ [▲]/[▼]スイッチを押して、連結レピータ機能の設定内容を「Fr-oF」に設定します。

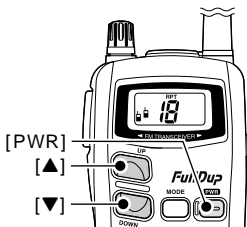
- Fr-oF : 連結レピータを使用しない



- ⑦ [PWR]スイッチを短く押すと、通話チャンネル表示に戻ります。

- “”が表示されます。

- ⑧ [▲]/[▼]スイッチを短く押して、隣接している無線機と同じ通話チャンネルをRPT1～RPT27のあいだで設定します。



### [ご注意]

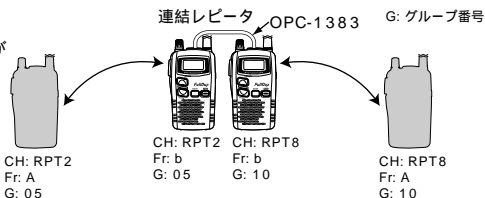
- レピータとして動作しているときは、通常の交信はできません。
- レピータは電源を入れた状態で、見通しのよい場所に設置してください。
- 子機がグループ機能を設定している場合は、そのグループ番号に合わせて、レピータにもグループ機能を設定してください。

◇ 連結レピータモードの設定

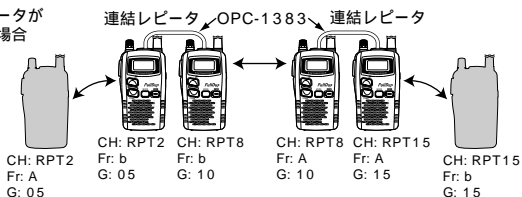
本機を別売品の接続ケーブルOPC-1383で接続して(☞ P 30)、「半複信(セミデュプレックス)連結レピータ使用モード」または「複信(フルデュプレックス)連結レピータ使用モード」のレピータとして使用するモードです。

設定例：

連結レピータが  
奇数台の場合



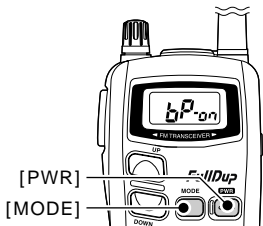
連結レピータが  
偶数台の場合



【連結レピータ設置に関するご注意】

通話が途切れたり、通話音がひずんだりする原因になりますので、連結レピータを設置する際は、子機や隣接しているレピータと、ある程度距離を離して設置してください。

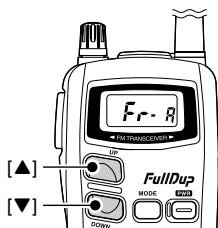
- ① 電源を切ります。
- ② [MODE]スイッチを押しながら [PWR]スイッチを押します。
  - 電源が入ります。(イニシャルセットモードを表示します。)
- ③ [MODE]スイッチを短く数回押して、Sc-88(動作状態の設定)項目を選択します。



## 1 交信モードについて

- ④ [▲]/[▼]スイッチを押して、動作状態の設定内容を「Sc-rP」に設定します。

- Sc-rP : レピータモードだけ使用可能



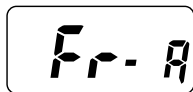
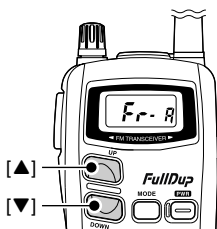
- ⑤ [MODE]スイッチを短く押して、Fr-oF(連結レピータ機能の設定)項目を選択します。

- ⑥ [▲]/[▼]スイッチを押して、レピータ機能の設定内容を「Fr-A」または「Fr-b」に設定します。

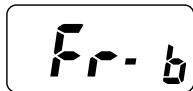
- Fr-A : 連結レピータ周波数帯 A を使用
- Fr-b : 連結レピータ周波数帯 b を使用

ケーブル(OPC-1383)で接続しているレピータ同士は、同じ周波数帯を選択してください。


隣接している無線機およびレピータとは、逆の周波数帯を選択してください。



または




- ⑦ [PWR]スイッチを短く押すと、通話チャンネル表示に戻ります。

● “”が表示されます。

- ⑧ [▲]/[▼]スイッチを短く押して、通話チャンネルをRPT1～RPT27のあいだで設定します。

ケーブルで接続しているレピータ同士は、異なる通話チャンネルを設定します。

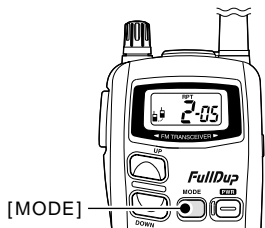
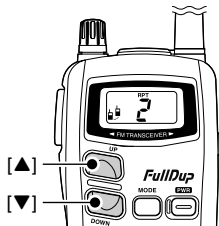
隣接している無線機およびレピータとは、同じ通話チャンネルを設定します。

- ⑨ グループ機能を設定します。  
( P25)

隣接している無線機およびレピータとは、同じグループ番号を設定します。

ケーブルで接続しているレピータ同士は、グループ番号を考慮する必要はありません。

- ⑩ グループ機能設定後、[MODE]スイッチを短く3回押すと、通話チャンネルと設定したグループ番号の表示になります。



[ご注意]

- レピータとして動作しているときは、通常の交信はできません。
- レピータは電源を入れた状態で、見通しのよい場所に設置してください。

## 1 交信モードについて

### 複信モードでの交信のしかた

複信(フルデュプレックス)モードおよび複信連結レピータ使用モードの設定(☞ P7、13)が完了したら、以下の手順にしたがって交信します。

このモードでは、IC-4088D同士での交信になります。

その他のモードでの交信については、IC-4088/D 取扱説明書14～19ページをご覧ください。

#### [ご注意]

ハウリング\*を避けるため、別売品のヘッドセットを使用してください。(ヘッドセット側の[PTT]スイッチを押して、通話します。)

この場合、外部マイクに切り替わります。

\*ハウリングとは、スピーカーから出た音マイクに戻り、その音が再び増幅されることで、連続音(ピー)が発生します。

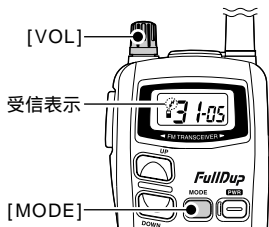
## 1 [VOL]ツマミを回して、音量を調整する

相手局の音声が大きすぎたり、小さすぎるときは、[VOL]ツマミを回して聞きやすい音量に調整します。

何も音が出ていない状態での調整は、[MODE]スイッチを長く押して「ザー」という雑音を出してから、この音を聞きながら調整します。

- “#”が表示されます。

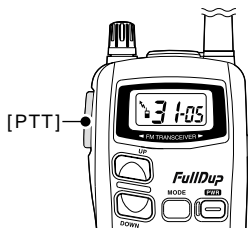
[MODE]スイッチを再度長く押すと雑音が切れます。



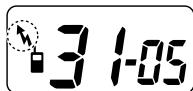
## 2 [PTT]スイッチを押して、通話相手を呼び出す

[PTT]スイッチを短く押すと、「プルルル」という音が鳴ります。

相手からの応答を待ちます。  
再度[PTT]スイッチを押すと、途中で呼び出しを終了します。  
相手から応答があったら、通話状態になります。



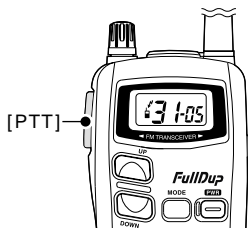
送信中の表示例



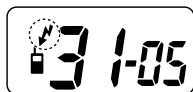
## 3 呼ばれたときは

「プルルル」という音が鳴ります。  
呼び出し音が鳴っているあいだに [PTT]スイッチを押すと、通話状態になります。

通話エリア内にいるグループの中で、最初に[PTT]スイッチが押された無線機と通話できます。



受信中の表示例



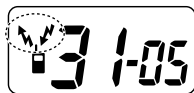
# 1 交信モードについて

## 4 交信する

送信(話す)と受信(聞く)が同時にできます。

送信出力の切り替え方については、IC-4088/D 取扱説明書18ページをご覧ください。

通話中の表示例

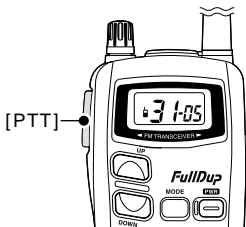


## 5 通話を終了する

[PTT]スイッチを押すと、「プッ」という音が鳴り、通話を終了します。

1対N(複数)通信時、呼ばれた側の無線機が[PTT]スイッチを押して通話を終了した後に、通話エリア内のグループメンバーが[PTT]スイッチを押すと、再度通話が始まります。

最初に呼び出しをした無線機で[PTT]スイッチを押して通話を終了すると、通信は完全に終了します。





## セットモードについて

本機のセットモードで設定できる機能は、交信モードによって異なります。

以下の表を参考に、必要な機能を設定してください。

設定が必ず必要なモードがありますので、ご注意ください。

モ ー ド	グループ 機能 (☞P25)	秘話 機能*	1対N通信 機能 (☞P26)	スケルチ レベル (☞P27)
単信(シンプレックス)			×	
複信(フルデュプレックス)		×		
半複信(セミデュプレックス) 単独レピータ使用			×	
半複信(セミデュプレックス) 連結レピータ使用			×	
複信(フルデュプレックス) 連結レピータ使用		×		
単独レピータ		×	×	
連結レピータ		×	×	

：設定が必ず必要、 ：設定が可能、 ×：設定が不可能

\*IC-4088/D 取扱説明書25ページをご覧ください。

## 2 セットモード

### グループ機能を設定する

グループ機能を設定すると、同じグループの人とだけ通話ができます。

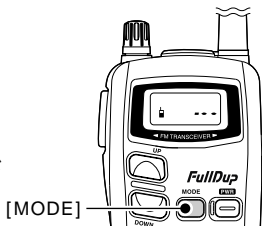
#### 1 グループ設定表示にする

[MODE]スイッチを押すごとに、「 - - 」 「Sr-oF」(「1n- 1」)\* チャネル表示と切り替わります。

- グループ設定表示にします。

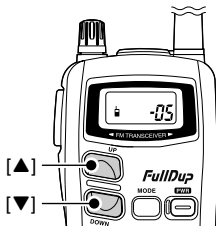
「 - - 」

\*交信モードにより、表示される項目が異なります。



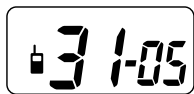
#### 2 グループ番号を設定する

[▲]/[▼]スイッチを短く押して、グループ番号を01～38の中から選択します。



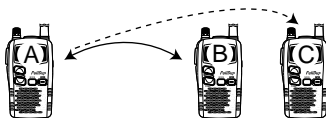
#### 3 グループ設定表示を終了する

[MODE]スイッチを短く3回押すと、通話チャンネル表示になります。



## 1対N(複数)通信機能を設定する

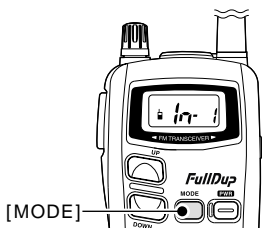
1対N通信機能を設定すると、通話エリア内の第三者(C)もAの話した内容を聞くことができます。



### 1 1対1/1対N(複数)通信設定表示にする

[MODE]スイッチを押すごとに、「--」「1n- 1」「SL--」チャンネル表示と切り替わります。

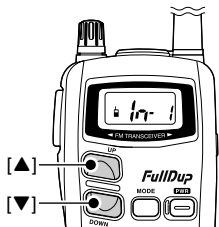
- 1対1/1対N通信設定表示にします。「1n- 1」



### 2 1対1/1対N(複数)通信を設定する

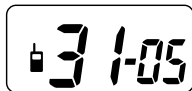
[▲]/[▼]スイッチを短く押して、1対1/1対N(複数)通信の設定内容を「1n- 1」、または「1n- n」にします。

- 1n- 1 : 1対1通信
- 1n- n : 1対N(複数)通信



### 3 1対1/1対N(複数)通信設定表示を終了する

[MODE]スイッチを短く2回押すと、通話チャンネル表示になります。



## 2 セットモード

### スケルチレベルを設定する

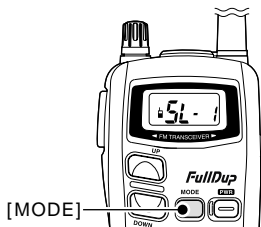
スケルチレベルを(--、1~3)から設定します。  
通常は、雑音が消える値を設定します。

#### 1 スケルチレベル設定表示にする

[MODE]スイッチを押すごとに、  
「--」 「Sr-oF」(「1n-1」)\*  
「SL--」 チャンネル表示と切り替  
わります。

- スケルチレベル設定表示にし  
ます。「SL--」

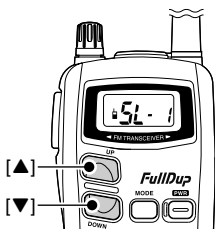
\*交信モードにより、表示される項目が  
異なります。



#### 2 スケルチレベルを設定する

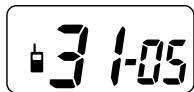
[▲]/[▼]スイッチを短く押して、  
スケルチレベルを「SL--」、または  
「SL-1」~「SL-3」に設定します。

- 数値が小さいほど弱い信号でも  
入感します。



#### 3 スケルチレベル設定表示を終了する

[MODE]スイッチを短く1回押す  
と、通話チャンネル表示になりま  
す。

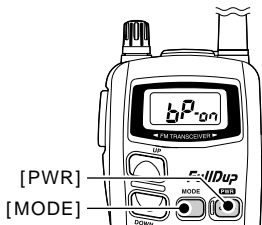


# イニシャルセットモード 3

イニシャルセットモードでは、初期設定されている運用状態を、お好みの使いかたに応じて変更できます。

ここでは、IC-4088Dだけに搭載の機能を説明します。その他の機能については、IC-4088/D取扱説明書37ページを参照してください。

- ① 電源を切ります。
- ② [MODE]スイッチを押しながら [PWR]スイッチを押します。
  - 電源が入ります。(イニシャルセットモードを表示します。)
- ③ [MODE]スイッチを短く数回押して、設定項目を選択します。
- ④ [▲]/[▼]スイッチを押して、設定内容を選択します。
- ⑤ [PWR]スイッチを短く押すと、元の表示に戻ります。



[MODE]スイッチを押すごとに、「bP-on」「St-ts」「Ao-oF」「bL-01」「Pt-oF」「Lc-At」「Sc-88」「Fr-oF」「Hn-0」と切り替わります。

## ◇ 動作状態の設定

IC-4088Dの動作状態を設定する項目です。

- Sc-88 : 「単信モード」または「半複信単独レピータ使用モード」だけ使用可能
- Sc-AL : 子機として動作する場合の全モード使用可能
- Sc-Fd : 複信(フルデュプレックス)モードだけ使用可能
- Sc-rP : レピータモードだけ使用可能

Sc-88

Sc-AL

Sc-Fd

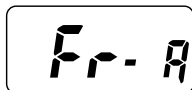
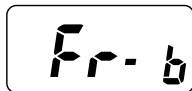
Sc-rP

### 3 イニシャルセットモード

#### ◇ 連結レピータ機能の設定

連結レピータ機能を設定する項目です。

- Fr-oF : 連結レピータを使用しない
- Fr- A : 連結レピータ周波数帯Aを使用
- Fr- b : 連結レピータ周波数帯bを使用

A rectangular LCD display showing the text "Fr-oF" in a stylized, segmented font.A rectangular LCD display showing the text "Fr- A" in a stylized, segmented font.A rectangular LCD display showing the text "Fr- b" in a stylized, segmented font.

#### ◇ ハングアップタイムの設定

無線機の信号が途切れてから、中継動作を停止するまでの時間を設定する項目です。

- Hn- 0 : 0/1/3/5(秒)の中から選択します。

A rectangular LCD display showing the text "Hn- 0" in a stylized, segmented font.

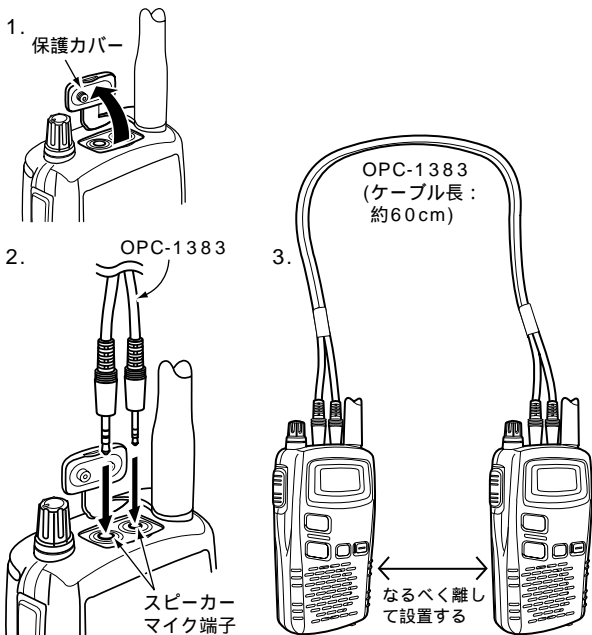
## 別売品とその使い方 4

本機を連結レピータとしてお使いいただくために、別売品の接続ケーブルOPC-1383を用意しています。

ここでは、IC-4088Dだけの別売品を説明します。

その他の別売品については、IC-4088/D取扱説明書43～50ページを参照してください。

- ① 下図のように本体上部の保護カバーをはずし、接続ケーブルOPC-1383をスピーカーマイク端子に接続します。
- ② OPC-1383の反対側のプラグを、もう一方のIC-4088Dのスピーカーマイク端子に接続します。



高品質がテーマです。

## アイコム株式会社

本社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	003-0806	札幌市白石区菊水6条2-2-7	TEL 011-820-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	108-0022	東京都港区海岸3-3-18	TEL 03-3455-0331
名古屋営業所	468-0066	名古屋市天白区元八事3-249	TEL 052-832-2525
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

●サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。